

「活躍する明中生 ～春の大会を終えて～」

4月26日（土）～5月11日（日）にかけて、各部活動等の春の大会が行われました。冬の間の地道なトレーニングを重ねた結果、多くの部活動が素晴らしい結果を残しました。3年生にとって最後の大会となる支所予選やコンクールまで、あと3か月となりました。中学生は、この3か月間で見違えるほどにうまくなったり、力強くなったりします。各部、各自の目標に向けて、一日一日、一本一本の練習を大切にしてほしいものです。

5月7日（水）に行なわれた学校朝会では、校長先生が吹き矢の実験をしました。「長短2本の筒で、同じ勢いで吹き矢を吹くと、どちらが遠くまで飛ぶだろうか。」という問いに、多くの生徒が「短い方」と考えました。生徒たちが実験の結果をじっと見守る中、長短それぞれ4本ずつ吹きました。結果は多くの生徒の予想とは反対の長い方でした。

この実験から、息を「努力」、筒の長さを「時間」に置き換えて、『努力×時間＝成果』である。」という話をしました。話の後、生徒たちからは自然に拍手が起き、心に残る朝会となりました。



【どちらの筒が遠くに飛ぶかな】



【勉強も部活動も同じ】

○安城市中学校春季陸上競技大会 4月26日（土）：安城市陸上競技場

優勝	男子800m	3-4	, 男子砲丸投げ	3-2
第2位	男子砲丸投げ	3-3	, 男子200m	3-2
//	女子100mH	2-4	, 2年男子1500m	2-4
//	女子走高跳	2-2		
第3位	男子110mH	2-4		

僕は、安城市春季陸上競技大会で男子800mに出ました。後半まで、先頭について行き、ラストパートの時、応援してくれていた先生の「ついていけ！最後に全力で抜けばいい！！」という言葉でエンジンがかかり、トップに立ち、優勝することができました。しかし、自己ベストを出すことができず、少し悔しい思いが残りました。朝会で校長先生が『努力×時間＝成果』とおっしゃっていたように、これから厳しい練習にも励んでいきたいと思えます。

陸上部 部長

○第17回安城市春季卓球大会

4月27日（日）：安城市体育館

第3位	女子団体	
3-1		, 3-2
3-3		, 3-3
3-3		, 3-4



【3位入賞卓球部女子】